

本市では、中学校入学に伴う環境の変化への不応に、課題に適切に対応するため、令和元年11月8日に「泉佐野市小中一貫基本方針」を策定し、全ての中学校区で「主体的に学び続ける子ども」の育成をめざし、小中一貫教育に向けた取組を進めています。

令和2年度は本市のモデル校区である長南中学校区を中心に取組を進め、令和3年度には、市内全ての中学校区で小中一貫教育導入に向けての取組を進めてきました。その中で、中学校区の先生が互いの学校の子どもたちの理解を深めるため、中学校の先生が小学校で授業を行い、小学校の先生が中学校の授業を参観するなどの先生同士の交流を進めてきました。また、小学生が中学校へ進学することの不安を少なくすることや、「こんな中学生になりたい」という思いを持つように、児童会と生徒会の子ども

泉佐野市の小中一貫教育

い  
ず  
み  
さ  
の  
教  
育



問合先  
学校教育課

もたちを中心とした、子ども同士の交流も積極的に進めてきました。

令和4年度は、義務教育9年間のうち、子どもたちにとどのようにつけてほしいか、また中学校卒業後をイメージし、社会に出る段階ではどのような大人になってほしいかを中学校区全体で具体的に考え、そこに向かって校区全体で教育活動を行っていきます。

そして、校区で育った子どもたちが、社会や世界に向き合い、関わり合い、自分の人生を切り拓いていく力をつけていくことができるよう、社会全体で子どもたちを育てることができると、泉佐野市の小中一貫教育をめざします。保護者や地域の人も含め、子どもたちに関わる大人全員で子どもたちを育てていくという考えのもと取組を進めたいと考えていますので、ご理解ご協力をお願いします。



学校園紹介



「オンライン文化祭」のとりくみ  
～新池中学校～

新池中学校では、昨年12月に「オンライン文化祭」を開催しました。1人1台端末やオンライン配信を活用することにより、感染リスクの無い安全な文化祭を実施しようという試みです。企画と運営は生徒会が主体となりとりくみました。



当日は、クラスごとに工夫を凝らして制作した映像作品が各教室に配信されました。また、有志グループやクラブからの発表もあり、いろいろなことにチャレンジする映像やダンスなどのパフォーマンス、部活のとりくみ紹介、楽器の演奏といったバラエティに富んだ発表を観ることができました。校内に設置された中継会場には地域のみなさんを招待し、プロジェクターで映された映像を通して参加していただきました。途中、生徒会役員が地域のみなさんにインタビューを行うという一幕もありました。

地域と連携しながらICTを活用した新しい行事を創り出したことに、大きな意義を感じることができた一日でした。



平和を考えられる人に  
～北中小学校～



コロナ禍で行事への制限も多かった中、3学期の最後に「6年生を送る会」が行われました。児童朝礼も年間を通して教室で行ってきた中、卒業する6年生のために各学年が工夫をこらし送る会に参加しました。体育館で待っている6年生と距離をあけて対面する形で、感染対策のため短時間ではありますが、1学年ずつお祝いのメッセージやプレゼント、歌やクイズなどの披露があり、とても心のこもったあたたかい会となりました。お返しにそれぞれの学年へ6年生からお礼の言葉があり、在校生との大切な思い出がまた一つ増えた時間でした。そして、対面で直接ふれあう時間をもつことができた貴重な時間でした。

ニュースなどで連日、戦争により人が亡くなったり、けがをしたりしている光景を見ながら、目の前にいる人を大切に思うことこそ「平和」であり、小さいころからの経験の積み重ねが人格を形成し、家庭や学校での経験こそが、平和を考えることができる人を育てます。6年生70人は、北中小学校で培ったその大切な宝物をもって、中学校へ巣立っていきました。

